

2026年4月1日
町田市立町田第三中学校
校長 鈴木英顕

2026年度 学校経営方針

1 教育目標

- (1)自他の違いを尊重し、優しい人になろう
- (2)誰にでも公平で、正しく判断できる人になろう
- (3)進んで学び続け、楽しい学校と豊かな未来を創る人になろう
- (4)日本の良き伝統を受け継ぎ、豊かな文化を創造する人になろう

2 校訓

敬愛 創造 協力

3 目指す学校像

- (1)生徒が自分、仲間、学校を誇ることのできる学校
- (2)一人一人の個性及び人権を大切にして、褒めて伸ばす学校
- (3)授業を大切にする、安心・安全で登校を楽しみにできる学校

4 中長期的目標

- (1)伝統と創造を重んじ、5つの大切(「自分」「相手」「礼儀」「時間」「もの」)を心がけ、毎日の登校を楽しみにできる学校を目指す。
- (2)保護者や地域と協働し「名門三中」として、社会で活躍する卒業生を育成する。

5 2026年度の目標(短期的目標)

- (1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた教育課程と学力向上の実現を図る。
- (2)人権と規律を大切に、生徒が笑顔で学ぶことができる授業改革と学校環境を確立する。
- (3)道徳教育の充実と美しい学校環境の実現により、安心で安全な学校を目指す。
- (4)「三中広場」や「皿中地域未来塾」等を活用し、多様な学びの機会確保と不登校対応の充実を実現する。
- (5)目的意識の形成とキャリア教育の充実による「学び続ける力」を育成する。
- (6)特別支援教育の視点に基づく教育活動の充実と固定学級と通常の学級のインクルーシブな教育活動を推進する。

6 2026年度の具体的取組目標

- (1)2026年度特別支援教育推進モデル校(1年目)として、「子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うこと」を目指す。
そのために、AIやICTを活用した授業、「学びの個別化」と「安心の構造化」による特別支援教育の視点に立った授業実践と行動支援を通して、学習習慣の確立と学習意欲の向上を図り、確かな学力を身に付けさせる。
- (2)褒めて伸ばす指導、「本物」に触れる機会を意図的に計画し、生徒が楽しいと感じられる授業改革を実践する。
また、道徳授業地区公開や命の授業などを通して、「命」の大切さと人権を尊重する意識を育てる。
- (3)組織的・計画的に「5つの大切」の徹底・実践を図り、花壇作りや清掃活動を通して美しい学校を実現するとともに、いじめと差別を許さない安心・安全で楽しい学校環境を構築する。
- (4)職場体験を含む3年間を見通したキャリア教育を通じて、一人一人の「学び続ける力」向上を目指した教育データの利活用、AIの積極的活用による改革を図る。
- (5)特別支援教育的な視点をもとに、全教室でユニバーサルデザインに基づく授業を展開するとともに、校内研修において感覚のアセスメントや感覚統合の運動などについても学び、授業開始時に、できた・気付いた、という成功体験を体感させる授業を実践していく。
- (6)絵画・作文・標語等のコンクールの積極的な利用、不断の教育課程の見直しと並行して特別活動の機会を生徒が達成感や満足感を感じる機会とし、自立心や自己有用感を向上させる。
- (7)ペーパーレスに加え、ICT活用による校務の合理化を推進し、教員が生徒と向き合ったり研修に勤しんだりする時間を確保する。
- (8)2033年度山崎中学校と統合に向けて、計画的な準備を進める。

7 業務量管理・健康確保措置の実施について

- (1)1年間における1カ月の平均時間外在校等時間を30時間以内を目指す。
- (2)1カ月の時間外在校等時間が80時間を超えている割合を0%を目指す。
- (3)仕事と生活の調和がとれていると回答した教育職員の割合を60%以上にする。
上記(1)~(3)を重点目標とし、教育職員の健康及び福祉、健全な職場環境を確保するため、労働安全衛生法等の規定を遵守するとともに、以下の内容に取り組む。
 - ①「業務の3分類(学校以外が担うべき業務、教師以外が積極的に参画すべき業務、教師の業務であるが負担軽減を促進すべき業務)」を踏まえた業務の精選及び見直しを図る。
 - ②1箇月時間外在校等時間が80時間を超えており、疲労の蓄積が認められる教育職員に対し、産業医の医師等による面接指導を実施する。
 - ③ストレスチェックの実施率を100%にし、実施後の集団分析の結果等も活用して職場改善の改善を推進する。特に仕事と生活の調和がとれていると回答を重視する。